

## 参考資料

(本書は米国時間 2016 年 10 月 27 日に米国で発表済みの英文プレスリリースの和訳です。  
解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします)

2016 年 10 月 28 日

### Aflac Incorporated は 2016 年度第 3 四半期の業績を発表 2016 年度の 1 株当たり事業利益の見通しを上方修正 2016 年度第 4 四半期現金配当を 4.9%増配

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2016 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安を反映し、前年同期の 50 億ドルから 13.4%増加し、57 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 5 億 6,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.32ドル)から 6 億 2,900 万ドル(同 1.53ドル)となりました。

有価証券取引及び減損による税引後資産運用実現損益については、前年同期の当期純利益には 7,200 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.16ドル)の実現損が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、2,500 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.06ドル)の実現損が含まれていました。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 1 億 2,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.30ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(実現損とのネット)は 4,000 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.10ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 1,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.03ドル)の税引後損失が含まれていました。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有していることから、当社は将来の事業利益目標については、米国会計基準 GAAP と同様の計算をしておりません。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していま

すが、利益送金、再々保険取引の決済及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を用いて当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであるとと考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の122.15円から19.3%円高ドル安の102.37円となりました。また、本年度年初来9ヶ月間の平均円／ドル為替レートは、前年同期の120.81円から11.3%円高ドル安の108.58円となりました。日本社の当四半期及び本年度年初来9ヶ月間のドルベースでの成長率は、円高ドル安により押し上げられました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億7,200万ドルから、7億4,800万ドルとなりました。当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期に比べて16.7%増加し、1.82ドルとなりました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.15ドル増加しました。円高ドル安の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、7.1%増加しました。

本年度年初来9ヶ月間の業績も、円高ドル安により押し上げられました。収益合計は前年同期の156億ドルから6.8%増加し166億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の18億ドルから19億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は4.14ドルから4.59ドルとなりました。一方、本年度年初来9ヶ月間の事業利益は、前年同期の20億ドルから22億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の4.60ドルから5.25ドルとなりました。円高ドル安による、希薄化後1株当たりのプラスの影響0.26ドルを除くと、本年度年初来9ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は8.5%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2016年6月30日現在の1,260億ドルから2016年9月30日現在では1,289億ドルとなりました。

当四半期、当社は2億ドル相当(270万株)の自己株式を取得しました。本年度年初来9ヶ月間では、当社は12億ドル相当(1,880万株)の自己株式を取得しました。2016年9月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、2,960万株となっています。

株主持分は、2016年6月30日現在が226億ドル(1株当たり54.98ドル)であったのに対し、2016年9月30日現在では228億ドル(1株当たり55.84ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2016年6月30日現在が64億ドルであったのに対して、2016年9月30日現在では61億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で11.1%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.3%(事業利益に対する円高の影響を除くと15.1%)でした。

## 日本社

当四半期、円ベースで見ると、日本社の再保険後の保険料収入は1.1%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約46%がドル建てであり、円高ドル安がドル建ての収益の報告実績に著しい影響を与えたため、投資収益(ネット)は、8.6%減少しました。当四半期の収益合計は、前年同期比0.5%減少しました。当四半期の税引前事業利益率は、円高及び保険金給付金比率の上昇を反映して、前年同期の21.9%から20.7%に低下しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは前年同期比6.4%減少しましたが、為替変動の影響を除けば、0.4%の減少でした。一方、本年度年初来9ヶ月間の円ベースの純保険料収入は1.0%の増加、投資収益(ネット)は5.2%の減少、収益合計は変動なく、税引前事業利益は2.8%の減少でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円高ドル安の影響により、押し上げられました。当四半期の純保険料収入は20.6%増加し、36億ドルとなりました。投資収益(ネット)は9.1%増加し6億6,100万ドルとなりました。収益合計は18.7%増加し、43億ドルに、税引前事業利益は11.7%増加し8億8,200万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の純保険料収入は前年同期比12.6%増加し、102億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.6%増加し19億ドルとなりました。収益合計は11.5%増加し121億ドルに、税引前事業利益は8.2%増加し、26億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は16.2%減の265億円(2億5,900万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、2.5%増加しました。当四半期のWAYSと学資保険を含む第一分野商品の販売は、54.0%減少しました。

本年度年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は1.4%減少して879億円(8億900万ドル)となりました。本年度年初来9ヶ月間、第三分野商品の販売は5.0%増加しました。

## 米国社

当四半期の米国社の純保険料収入は1.4%増加し、14億ドルとなりました。投資収益(ネット)は1.7%増加して1億7,600万ドルとなりました。収益合計は1.4%増の15億ドルとなりました。当四半期の税引前事業利益率は、有利な給付傾向が継続したことを反映して、前年同期の18.8%から20.9%となりました。当四半期の税引前事業利益は、前年同期比12.4%増の3億2,300万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の収益合計は2.1%増の46億ドルに、純保険料収入は1.9%増の41億ドルとなりました。投資収益(ネット)は3.7%増加して5億2,600万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比9.5%増の9億4,600万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料合計は、1.8%減少し3億2,400万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の販売は、0.9%増加して9億9,900万ドルとなりました。

## 現金配当

取締役会は、2016年度第4四半期支払いの四半期現金配当を4.9%増配し、1株当たり0.43ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016年11月16日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016年12月1日に支払われます。

## 今後の見通し

当四半期の当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期ならびに年初来9ヶ月間において、日本社は財務業績の観点で堅調な実績を挙げました。先月の東京でのアナリスト・ブリーフィングでお話ししましたように、日本社の第三分野商品の販売については、マイナス3%からプラス2%の年間成長率予想を、0%からプラス5%に上方修正しました。当四半期及び年初来9ヶ月間の第三分野商品の販売実績については、大変喜ばしく思っています。日本社が困難な販売比較に直面している中にも強い実績を挙げたことを反映して、第三分野商品の販売は、当四半期では2.5%増、年初来では5%増という結果になりました。しかしながら私は、第4四半期は厳しい販売比較となることを思い起こしていただきたいと思っています。第三分野商品の販売成長は、長期的には複利年率で4%から6%となるものと、当社は引き続き確信しています。第一分野商品の販売に目を転じますと、特に日本におけるマイナス金利や低金利の環境下で、当社の第一分野商品の販売を制限する動きに大きな進展があったことに勇気づけられています。当四半期の第一分野商品の販売は54%減となり、本年度下半期の第一分野商品販売を最低でも50%減少させるという目標の達成に向け、順調に進捗しています」

「当四半期及び年初来9ヶ月間において、財務業績の面で米国社は強い実績を挙げました。当四半期の販売は、残念な結果となりましたが、私は、当社の販売インフラを強化するために実行した数々の施策が、将来のより良い販売機会に向けた基礎固めとなるものと確信しています。私はまた、当社が第4四半期、特に最終の3週間の販売が、年間の販売実績に著しい影響を与えるということを思い起こしていただきたいと思います。従いまして、年初来9ヶ月が経過した後でも、年間の販売予想を行うことが一層困難になっています。これらを総合して勘案すると、米国社が2016年度通年の販売目標である3%から5%増の下限値を達成するには、第4四半期において特に強力な販売が必要となるものと当社は確信しています」

「当社は引き続き、ご契約者のために高い自己資本比率を維持することにコミットしています。当社の強い資本水準は、2016年暦年の利益送金を1,200億円から1,500億円の範囲で実行ならしめるものと、当社は確信しています。2016年度の自己株式取得については、年初来9ヶ月間に12億ドル相当が既に実行されましたが、年間で約14億ドル相当を取得する計画は順調に進んでいます」

「取締役会が現金配当の4.9%増配を決定したことは、株主還元への当社のコミットメントを表しています。これにより、当社は34年連続で現金配当を増配することになります。当社の目標は、概して為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益の増加率に合わせて増配を行うことです」

「年初来9ヶ月間を終え、私は当社の全般的な業績について喜ばしく思っています。これらの業績は、2016年の残りの期間における見通しとともに、本年も堅調な財務業績の達成に向けてアフラックを良いポジションに位置づけるものと、当社は確信しています。将来の成長に向けた取り組みに継続的に注力するため、第4四半期は、特に販売促進とIT関連の支出が増加する見込みです。為替変動の影響を除く当社の1株当たり事業利益の2016年度の見通しを、従来の6.17ドルから6.41ドルの範囲から、6.40ドルから6.60ドルの範囲に上方修正することを、私は大変喜

ばしく思っております。仮に第4四半期の期中平均円／ドル為替レートが1ドル100円から110円で推移した場合、第4四半期の希薄化後1株当たり事業利益(米国会計基準GAAP外の指標)は約1.53ドルから1.82ドルの間となり、通年ベースでは、約6.78ドルから7.07ドルの間となるものと当社は予想しています」

## アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、10年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2016年、『フォーチュン』誌は、当社を18年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、15回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の1社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門において2年連続で第1位にランクしました。2015年、アフラックのコンタクトセンターは、その電話対応チャネルにおいて、J.D.パワー社から「サービスに対する際立った顧客体験」の認定を受けました。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカー・シンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、[aflac.com](http://aflac.com) 又は [espanol.aflac.com](http://espanol.aflac.com) をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、[aflac.com](http://aflac.com)「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様様を2016年10月28日(金曜日)午前9時00分(米国東部夏時間)に[aflac.com](http://aflac.com)「Investors」ページ上で公開します。

## Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>増減率</u>
収益合計	5,716	5,040	13.4%
保険金給付金(ネット)	3,378	2,927	15.4%
新契約費及び事業費合計	1,375	1,249	10.2%
税引前当期純利益	963	864	11.2%
法人税等	334	297	
当期純利益	629	567	10.8%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.54	1.32	16.7%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.53	1.32	15.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	408,519	428,735	-4.7%
希薄化後	411,140	431,102	-4.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>増減率</u>
収益合計	16,604	15,553	6.8%
保険金給付金(ネット)	9,657	8,816	9.5%
新契約費及び事業費合計	4,033	3,985	1.2%
税引前当期純利益	2,914	2,752	5.9%
法人税等	1,006	949	
当期純利益	1,908	1,803	5.8%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.62	4.17	10.8%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.59	4.14	10.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	413,023	432,540	-4.5%
希薄化後	415,446	435,064	-4.5%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.23	1.17	5.1%

## Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

### 9月30日現在:

	2016	2015	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	128,935	104,900	22.9%
繰延新契約費	9,759	8,451	15.5%
その他の資産	5,407	4,063	33.1%
資産合計	144,101	117,414	22.7%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	105,556	87,185	21.1%
社債等	5,765	4,968	16.1%
その他の負債	9,995	8,006	24.8%
株主持分	22,785	17,255	32.1%
負債および株主持分合計	144,101	117,414	22.7%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	408,021	427,567	-4.6%

## 事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く―無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>増減率</u>
事業利益	748	672	11.3%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-25	-72	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-122	-18	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	40	2	
その他及び非経常的(損)益	-12	-17	

当期純利益 629      567      10.8%

希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル) 1.82      1.56      16.7%

### 調整項目(税引後\*):

資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.06	-0.16	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.30	-0.04	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.10	-	
その他及び非経常的(損)益	-0.03	-0.04	

希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル) 1.53      1.32      15.9%

\*調整項目は35%の税率で計算した税引後

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>増減率</u>
事業利益	2,182	2,001	9.0%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	12	28	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-182	-39	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-40	-12	
その他及び非経常的(損)益	-64	-175	

当期純利益 1,908      1,803      5.8%

希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル) 5.25      4.60      14.1%

### 調整項目(税引後\*):

資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.03	0.06	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.44	-0.09	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.10	-0.03	
その他及び非経常的(損)益	-0.15	-0.40	

希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル) 4.59      4.14      10.9%

\*調整項目は35%の税率で計算した税引後

**為替変動の業績への影響<sup>1</sup>**  
 (主要項目の前年同期比増減率—無監査)

**2016年9月30日に終了した3ヶ月間:**

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></u>
純保険料収入 <sup>3</sup>	14.6%	1.2%
投資収益(ネット)	7.3%	-
保険金給付金および事業費合計	14.0%	0.6%
事業利益	11.3%	2.2%
希薄化後1株当たり事業利益	16.7%	7.1%

<sup>1</sup>数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

<sup>3</sup>再保険後。

**2016年9月30日に終了した9ヶ月間:**

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></u>
純保険料収入 <sup>3</sup>	9.6%	1.6%
投資収益(ネット)	5.2%	0.8%
保険金給付金および事業費合計	8.9%	0.9%
事業利益	9.0%	3.5%
希薄化後1株当たり事業利益	14.1%	8.5%

<sup>1</sup>数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

<sup>3</sup>再保険後。

## 2016年度1株当たり事業利益<sup>1</sup>予想

<u>円/ドル平均為替レート(通年)</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$7.24 - \$7.44	17.5% - 20.8%	\$ 0.84
105	\$6.94 - \$7.14	12.7% - 15.9%	\$ 0.54
110	\$6.75 - \$6.95	9.6% - 12.8%	\$ 0.35
120.99 <sup>2</sup>	\$6.40 - \$6.60	3.9% - 7.1%	\$ -

<sup>1</sup> 米国会計基準GAAP外の指標

<sup>2</sup> 実際の2015年度の年間加重平均為替レート